

乙曾 垂陽 あつら 漢學者、英學者。天保十二年江戸生れ、大正十年七月十九日歿（一八四二—一九二一）。諱益、通稱大郎乙。おらういっ乙曾村軒の長男。長じて杉田成卿に就き蘭學、英學を修めた。文久二年蕃書調所筆記方出役、四年開成所教授手傳並出役となり、明治元年沼津兵學校創設の際としては、二等教授として英語を教へた。のち駿府藩校英學塾主、大藏省翻譯司教頭を務めた。口學藝志林中等の翻譯がある。

妻は師成卿の次女、三男の乙曾二郎は音楽教育家、五男乙曾五郎は英語教育家として知られた。また實弟綱一の長男上田敏の名附け親ぐともあり、他に外山正一、河津祐之、田口卯吉の長男の名附け親ぶともなつた。